



ホット・ホット・越谷

平成 24 年 7 月 発行 No.31

TEL 048-985-4826

E-mail osamuchan@ae.wakwak.com

〒343-0841 越谷市蒲生東町 8 番 37 号

FAX 048-989-2397

URL <http://www.starosamuchan.com/>

高齢者に笑顔を! 子どもたちに夢を! 地域に活力を!

4 月 19 日、「越谷市成人夜間急患診療所」の開所式典が行われました。

昨今、少子・高齢化の進展や疾病構造の変化に伴い、医療ニーズは高度化・多様化し、救急医療体制の充実が求められています。

特に、夜間における入院を必要としない、比較的軽症な急病患者に対する救急医療体制の整備が急務となっております。

その様な中、旧看護専門学校の一部を改修し、整備された「越谷市成人夜間急患診療所」では、16 歳以上の方を対象とした急病患者の診療を行います。

施設の規模 延床面積 380.86 m²・工事費 44,843,400 円・診療日 通年・診療科目 内科
診療時間 午後 8 時から午後 11 時・受付時間 午後 7 時 30 分から午後 10 時 30 分・駐車場 36 台



持論

その昔、とある議会で進められていた議会改革が、突然、頓挫した話を人から聞いたことがある。その議会は、改選後から一年間、「市民に開かれた議会」を構築するため、様々な改革を議長のもとで行ってきたが、議長任期の延長という最大の議会改革を果たせなかったことが頓挫した原因とされている。

その背景には、政策能力のない議員が多数会派の代表を務めており、他会派の代表者に二枚舌、三枚舌と、嘘の上塗りを重ねて議会改革よりもポスト争いを優先した結果、議会が混乱し続けるといった最悪のシナリオを作り出してしまったことが挙げられるという。

政策能力のない議員が選挙によって選ばれることは、市民にとって最大の不幸である。

この話を聞いたとき、議員は市民にとって有益な政策提言を行うことこそが重要な責務であると再確認するとともに、全ての議員に同じ思いをもってもらいたいと私は思った。

越谷市議会6月定例会報告!

去る 6 月 1 日から 6 月 19 日までの 19 日間にわたり越谷市議会 6 月定例会が開催され、市長提出議案 15 件のうち、1 件(議員選出監査委員の選任)を除く 14 件が原案の通り可決されました。

今回の市長提出議案は、平成 24 年 7 月 9 日より住民基本台帳法の一部改正及び外国人登録法の廃止が行われることから外国人住民についても新たに住民基本台帳に登録されることとなり、それに伴う条例の整備を必要としたものです。

また、議会最終日に追加提案された議員選出の監査委員の市長提出議案(江原千恵子議員)が否決されました。

この事により、議員選出監査委員(2 名)が当面の間、1 名でその職務を全うすることになります。

議員の海外視察を廃止!!

5 月 25 日に行われた越谷市議会代表者会において、海外都市行政調査に参加しないことを決定しました。

この海外都市行政調査は、全国市議会議長会が主催しておりまして、今年度は欧州、豪州・ニュージーランド、米国・カナダの 3 コースが予定されております。しかし、埼玉県内では平成 18 年度以降は越谷市のみが参加している状況を勘案するとともに、1 人約 70 万円前後の経費がかかることから、市民に納得していただく説明ができないと判断し、海外都市行政調査の参加は取り止めることといたしました。

この海外都市行政調査については、民主党・ネット・無所属の会が継続を主張していましたが、最終的には全体の意見を尊重していただき廃止と決定いたしました。

議長を交代いたしました。

6 月定例会において、越谷市議会議長が私から佐々木議員へと交代いたしました。

また、副議長も松島議員から武藤議員へと交代いたしました。

昨年の 5 月臨時会から約 1 年間議長という大役を仰せつかりましたが、議会を代表する立場から挨拶の組み立て方の勉強や、円滑な議会を運営するための調整など、多くのことを学ばせていただきました。

とりわけ、昨年 9 月 1 日に制定した「越谷市議会における災害発生時の対応要領」の策定をはじめとする多くの議会改革を実現できたことは、今後の私にとって『力』となるものと考えております。

今後は、一議員として、初心を忘れることなく、議会で発言していく所存ですので、引き続きご理解とご協力をお願いします。

放射線測定器をお貸しします。

福島第一原発事故の影響により、放射線に対する不安が後を絶ちません。子どもたちの安全と安心を担保するために、簡易な測定器の貸し出しを行っています。

なお、貸出し期間につきましては、ご相談させていただきます。連絡先 090-2235-9593 伊藤まで。



葛西用水ウッドデッキオープン



水する谷古田用水では、日本最古の煉瓦造り谷古田取水公園が整備されました。

また、越谷市の事業としては、葛西用水沿いに全長一二〇メートルのウッドデッキが整備されました。

このウッドデッキでは、出張マルシェ(地場農産物市)などをはじめとする様々なイベントを開催し、イベント広場として利用されることで新たな観光スポットとして、活気ある地域の賑わいを創出することを目的としています。

市民活動支援

センター開設

五月二十四日、越谷市市民活動支援センター竣工式が行われました。

このセンターは、営利を目的としない自主的で主体的な市民活動への参加を促進し、市民活動を行う団体(NPO、地域活動団体等)を支援する施設として、越谷駅東口の越谷ツインシティーBシティーの五階・四階

に六月一日に開設しました。



五階には、「市民活動支援センター」として、A・B活動室・多目的スペース・印刷作業室・パソコン室・プレイルームなどがあり、市民活動を行う場を提供することで、市民の皆様が自由に市民活動に参加し、様々な情報収集ができることを目的としています。また、同じ五階には、越谷市の観光や特産物などのPR拠点となる「観光・物産情報コーナー」を設けております。

四階には、中央図書室とパス

ポートセンターが設けられ、中央図書室には児童・新書・新規購入で二万冊、既存館からの一万冊の合計三万冊の図書をもつて開設し、パスポートセンターでは、今まで市役所で行っていた機能をそのまま移設いたしました。

被災地は今!

依然進まぬ復興



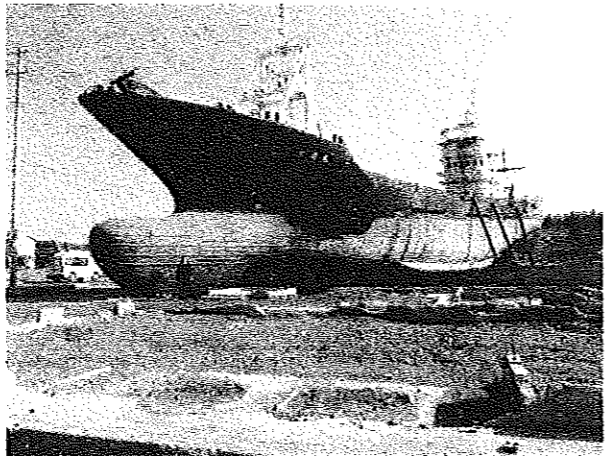
(津波で壊滅した建物・大槌町)

五月七日、八日、私は同僚の金井議員とともに、その後の被災地の状況を確認するため、岩

手県及び宮城県に行きました。



(津波で破壊された釜石市の防潮堤)



(津波で打ち上げられた気仙沼市の巨大船)

被災地に派遣された職員を表彰訪問

現在、被災地の復興のお手伝いをするため、越谷市から大船渡市、名取市に、それぞれ一名の職員を一年間という期間を定めて派遣しています。

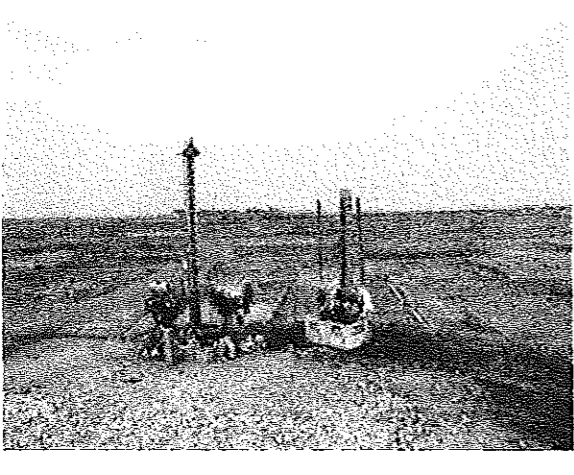
私は今回、被災地の現状を把握するとともに、越谷市民を代表して被災地に派遣された職員に対し、表彰訪問をしてまいりました。



名取市に派遣されている職員及び担当課長さんとともに、関上地区を視察しましたが、津

波によって全て流され家の基礎だけが残ったままの状態を確認したとき、まさに言葉が出ませんでした。

今回の東日本大震災で発生した津波によって壊滅状態になった多くの市町村では、まちの機能を高台などに移転することが計画されておりますが、この関上地区では、昔から愛着のあるこの場所で、再度、復興させる計画を検討しています。



(見渡す限り何もない関上地区)

被災地は、依然として厳しい状況が続いていますので、今後とも、出来る限りの協力をしていきたいと考えております。

(陸前高田市の「がれき」の出)

